



Market Eyes No.246

大和投資信託

日経平均株価の下値めどを考える

■ 日経平均株価は大幅下落

足元で日本株の下落が目立っている。10月上旬に年初来高値を更新した日経平均株価は、10月末にかけて2万1000円付近まで下落した。その後、2万2000円台後半まで反発したものの、再度下落に転じ、直近では心理的節目の2万円を割り込む動きとなっている。すでに高値からの下落率は20%を超えている。

■ PBR1倍が意識される

株価指標からは、PBR（株価純資産倍率）の1倍水準が目先の下値めどとして意識されやすいだろう。これは2015年のチャイナ・ショックから翌年2月にかけての原油価格急落で日本株が大きく下落した際に支えられた節目であり、2016年6月の英国におけるEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票後の日本株急落の際にも支えられた水準である。【図表1】なお、12月25日時点の日経平均株価のPBRは0.99倍である。そのため、いったんは下げ止まってもおかしくない水準まで下落したといえよう。

■ 半値押し水準も意識される

テクニカル的には高値からの半値押し水準が意識されよう。2016年の安値は、2012年の安値から2015年の高値までのほぼ半値押しにあたる水準であった。そして、2016年の安値から2018年の高値までの半値押しにあたるのが、1万9000円台半ばである。今回もこの付近で下げ止まれば、中長期の上昇基調は維持されているととらえられよう。

■ 長期的には押し目買いの好機か

2016年に日経平均株価がPBR1倍水準まで下落した局面は、後から振り返れば絶好の買い場だったといえる。その後の上昇相場は記憶に新しいことだろう。もちろん、リーマン・ショック時のようにPBRが1倍を大きく下回る場合もあることは事実で、今回の下落局面でもPBR1倍水準で下げ止まるとは断言できない。ただ、リーマン・ショック級の金融危機が起こる可能性が低いと考えるのであれば、長期投資の観点からは、足元の割安な株価水準は良い買い場といえるかもしれない。

【図表1】 日経平均株価とPBR水準ごとの日経平均株価



(出所) ブルームバーグ

❗ 投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的に ご負担 いただく 費用	購入時手数料	0~3.24%	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 最大32,400円 をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 最大5,000円 をご負担いただけます。
信託財産で 間接的に ご負担 いただく 費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~2.5528%	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 最大1日あたり約70円 をご負担いただけます。
	その他の費用・ 手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和投資信託が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会